

長尺スプラインや傘歯車の加工を強みに歯切り一筋

- 納期相談
- 企画力自信有
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット



社長と現場社員たち

業務内容
多様な歯車一品から
納入先は約500社に

昭和23年、現社長の祖父である南仁三郎氏が大阪市大正区で創業（同40年に有限会社に改組）。現在の港区に移転した平成2年には実父の南光二氏が社長に就任し、その後から木工用機械の特殊歯切りの仕事が増えた。それによる設備の増強と研究の蓄積が、同社の得意とする長尺軸の加工技術につながった。同24年に南仁氏が社長に就任。ホームページの作成を機に、主力である大型プレス機械用の長尺スプライン加工に加え、攪拌機かくはんきのギア部分となる傘歯車など特殊な歯切り加工の相談や依頼が全国から寄せられた。現在では、納入先は約500社に広がっている。

強み
各種刃物を取り揃え
高精度加工誇る

強みはスプライン加工。軸と穴にそれぞれ歯車のような凹凸を付け部品を締結するための加工で、産業機械全般に用いられる。なかでも同社の技術は自動車向けの大型プレス機械の駆動部に多く使われている。長尺軸を切削すると必ず振動（ビビリ）やたわみが生じるが、これを独自の治具で抑えることにより直径30mm以下、長さ7mの製品でも、厳しい寸法公差内で加工できる。南社長は「どこにも負けない精度」と、同社の技術に胸を張る。また、国内外の規格の歯切り用刃物を数百種類取り揃えているのも強みで、同業者からの相談も多いという。

人材育成
若手リーダーを育成
積極性見られ確かな成果

現在は人材育成に力を入れている。小規模でも従業員の誰もがいい会社だと思える

企業を目指すには、社長を含めた従業員全体のスキルアップと目線の向上が必須であり、若手社員をリーダーに任命して社内改革を進めている。昨年より会議に経営コンサルタントを招へいし、経営の数字や課題について話し合い、目標設定と実行管理がしっかりできる組織を目指している。リーダーは、社外の会合や地元の小中学生にもづくりの授業を行うといった地域イベントへも参加する。南社長は「社外の人との交流が刺激となり積極性が出てきた」と、確かな成果に目を細めている。

今後の展望
人材と設備の増強で
売上高3億円目標

直近の平成30年6月期の売上高は、前年比30%増の約1億6,500万円。中期目標では3億円を目指している。そのためには従業員の能力向上と増員、さらに設備増強が必要だ。人材では、既設だが稼働率の低いマシンングセンター（MC）と近年導入予定の旋盤、受注が急激に増えている傘歯車のオペレーターの増強が急務だ。近年は全加工のニーズが高いため、工程管理を含めた営業の強化とマシンングや旋盤の内製化によって、経営の効率化と納期対応力を上げていく。南社長は「歩みは遅いが、うまくかみ合わせて実現したい」と意気込む。



スプライン加工製品



傘歯車の加工の様子

当社の歴史



当社は昭和23年に創業して以来、これまで多種多様な歯車を扱ってきたノウハウがあります。現在は長尺軸へのスプラインや特殊な歯切り加工を得意としています。数百種類におよぶ刃物とこれまでの経験値で、皆様の多様なニーズに応えてまいります。他社で断られた加工も、是非一度ご相談ください。

代表取締役 **南仁**さん

<http://m-haguruma.sakura.ne.jp/>

主な事業内容

長尺軸への歯切りや傘歯車の歯切りをはじめとした各種歯車の加工

主な取引先(納入先)

プレス機、押出し機などの大型産業機械メーカー、食品機械、攪拌器メーカーなど

●住所

〒552-0007
大阪市港区
弁天6-4-31

●TEL

06-6576-2521

●FAX

06-6576-2524

●創業

昭和23年4月

●設立

昭和40年7月

●資本金

300万円

●従業員

12名

大阪30